

赤外線投光器内蔵防水型

パリアフォーカルカメラ

- AHD2.0対応
- 約210万画素の高画質
- 優れた防水防塵性 (IP67相当)

SAH-G272

仕様



イメージセンサー	1/2.9インチ 2.1M SONY CMOS
映像出力モード	1080P (モニター解像度 1920 × 1080)
レンズ	f=2.8~12mm/F1.4
水平画角	約95~35°
内蔵投光器	赤外線LED 40個
赤外線投光距離	約20m
被写体最低照度	カラー時：約0.5ルクス / F1.4、モノクロ時：0.05ルクス
電子シャッター	1/30~1/50,000
OSD機能	あり
オートアイリス	あり
ホワイトバランス	自動
逆光補正	あり
WDR	あり (D-WDR)
フリッカーレス機能	あり
ノイズリダクション機能	あり
映像出力	BNCジャック端子
音声出力	-
防水性能	IP67 相当
照度センサー	あり
動作周囲温度	約-10~+50℃
電源	DC12V(専用ACアダプター)
消費電力	通常時最大 1.5W 赤外線投光時最大 4.5W
外形寸法	約W77 × D158mm
質量	約600g

1809A

梱包内容の確認

- | | | | |
|---------------------------------------|----|------------------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> カメラ本体 | ×1 | <input type="checkbox"/> 樹脂アンカー | ×1 |
| <input type="checkbox"/> 専用ACアダプター | ×1 | <input type="checkbox"/> 六角レンチ | ×1 |
| <input type="checkbox"/> フード | ×1 | <input type="checkbox"/> 映像確認用ケーブル | ×1 |
| <input type="checkbox"/> フード固定ネジ用 | ×1 | <input type="checkbox"/> 電源接続用ケーブル | ×1 |
| <input type="checkbox"/> フード固定ネジ用ワッシャ | ×1 | <input type="checkbox"/> 取扱説明書 | ×1 |
| <input type="checkbox"/> 取付用ネジ | ×1 | <input type="checkbox"/> 保証書 | ×1 |

接続方法



- 当社製ケーブルSE-20F(別売り)に接続します。
- 付属のACアダプターもしくは当社製ケーブル (SE-20F) に接続します。

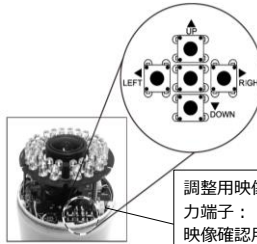
設定方法

■カメラの設定

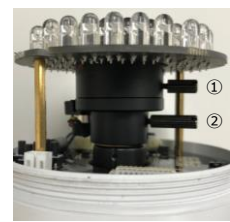
フードを外し、本体先端の黒いカバーを左に回して外します。中に設定ボタンがあります。

■画角の調整

2つのつまみは左に回すと緩んで調整できるようになり、右に回すと締まって固定されます。



調整用映像出力端子：映像確認用ケーブルを接続します。



①ズーム調整：つまみを左右に動かして画角を定めます。

②ピント調整：つまみを左右に動かしてピントを合わせます。

■設定ボタン

- SET : メニュー画面を呼び出します。カメラの設定値を変更した後に確定する時に使います。
- UP▲/DOWN▼ : メニュー画面で選択項目を上下に移動する時に使います。
- LEFT◀/RIGHT▶ : 設定内容を切り換える、または設定値を増減する時に使います。

メニュー

1. レンズ	▶ DC	▶ マニュアル		
2. 露出	1. シャッター	2. AGC	3. SENS-UP	4. 明るさ
	5. D-WDR	6. DEFOG		
3. BACKLIGHT	▶ オフ	▶ BLC	▶ HSBLC	
4. ホワイトバランス	▶ ATW	▶ AWC→セット	▶ 室内	▶ 室外
	▶ マニュアル	▶ AWB		
5. DAY&NIGHT機能	▶ オート	▶ カラー	▶ 白黒	▶ EXT
6. NR	1. 2DNR	2. 3DNR		
7. スペシャル機能	1. CAM TITLE	2. D-EFFECT	3. 動き検知	4. プライバシーマスク
	5. 言語	6. 欠陥画素補正	7. RS485	
8. 調整	1. SHARPNESS	2. モニタ	3. レンズ沈み補正	
	4. ビデオアウト			
9. 終了	▶ 保存&終了	▶ リセット	▶ 保存しない	

各種設定方法

1. レンズ

レンズの設定を行います。

- ▶ DC : 自動で絞りを調整します。
(本機はDC制御レンズを搭載しています。「DC」の設定のままご使用ください。)
- 1. モード : 「室外」か「室内」を選択します。
(「室外」を選択するとシャッタースピードの上限と下限を設定できます。)
- 2. IRIS SPEED : 自動で絞りを合わせる速さを調整します。
- ▶ マニュアル : 屋外での使用で蛍光灯のちらつきを防ぎたい場合は「マニュアル」を選択し、次の「露出」メニューの「シャッター」の選択肢から「FLK」を選択してください。

2. 露出

露出を調整します。

- シャッター : 蛍光灯のちらつきを防ぎたい場合は選択肢から「FLK」を選択してください。
(「レンズ」メニューで「DC→室外」を選択すると調整できません。屋外での使用で蛍光灯のちらつきを防ぎたい場合は「レンズ」メニューで「マニュアル」を選択し、「シャッター」の選択肢から「FLK」を選択してください。)
* FLK : フリッカー (ちらつき) 防止設定。蛍光灯のちらつきを防ぎます。
- AGC : 映像の明るさを自動的に調整します。数値を高く設定するとノイズも同時に増加します。
- SENS-UP : 夜間、暗い場所等の低照度の環境で自動的に暗さを感知し明るい画面を維持します。

注意

- シャッタースピードをFLK、または手動(1/30を除く)に設定した場合はSENS-UP機能は動作しません。
- オートに設定してSETボタンを押すと、低照度動作の最大倍率の調整が可能です。(×2 ~ 30)
- 倍率が高いほど画面は明るくなりますが、動いている物体の残像は大きくなります。
- SEN-UP機能が動作する時にノイズ、スポット、画面が白くなる現象が起きますが正常な現象です。

- 明るさ : 映像の明るさを調整します。
- D-WDR : 逆光など明るさの差が激しい映像の場合、明所の明るさは維持したまま暗所のみ自動的に明るく、全体的な視認性を改善する機能です。



D-WDRオン



D-WDRオフ

- DEFOG : 霧、煙が多い環境など、全体のコントラストが低い映像の場合、自動的にコントラストを向上させる機能です。

- POS/SIZE : 適用する範囲の位置と大きさを設定します。
- グラデーション : 適用した範囲の端から内側に向けてコントラストを徐々に強くします。
- 初期設定 : 「DEFOG」の設定を初期値に戻します。

3. BACKLIGHT

激しい逆光の環境でも被写体と背景がはっきり見えるようになります。

- ▶ BLC : 指定したエリア内の逆光を補正し、映像の暗い部分が見やすくなるよう補正します。

- エリア : 適用する範囲の位置と大きさを設定します。
- 初期設定 : 「BLC」の設定を初期値に戻します。

- ▶ HSBLC : 指定したエリア内で強い光を放つ部分を自動的にマスクします。

- 選択 : エリア1, エリア2, エリア3, エリア4 マスクするエリアを4つまで選択できます。
- DISPLAY : 選択したエリアのオン/オフを切り換えます。オンにした後に適用するエリアの位置大きさを調整します。
- BLACK MASK : マスク機能のオン/オフを切り替えます。
- レベル : マスクしたい光の強さを調整します。
- モード : 終日(すべての環境で動作), 夜のみ(暗い環境下で動作)
- 初期設定 : HSBLCの設定を初期値に戻します。

4. ホワイトバランス

- ▶ ATW：周囲の環境が変化しても、カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
- ▶ AWB：固定の設定値でホワイトバランス調整するため、周囲の環境が変化しても色調が変化しません。
- ▶ マニュアル：最初にATWモードでホワイトバランスを自動的に合わせます。その後マニュアルモードで被写体の色の変化を見ながら[青]と[赤]の設定値を調整します。
- ▶ 室内：屋内に設置する時に使用します。▶ 室外：屋外に設置する時に使用します。
- ▶ AWC→ セット：特殊な照明環境で色調に支障が出る場合は、白い紙を撮影しながらセットボタンを押しホワイトバランスを調整します。

注意

- 下記の環境ではホワイトバランス機能が完全に動作しない可能性があります。
- ① 被写体の周囲環境がカメラの色温度の調整範囲を超えている場合
 - ② カメラが蛍光灯の近くに設置されていてフリッカーの影響がある場合

5. DAY&NIGHT

カメラを白黒、カラーモードに設定する機能です。

- ▶ オート：通常はカラーモードで撮影し、照度が落ちると白黒モードへ切り替わります。
 1. D→N(CDS)：カラーモードから白黒モードへ転換する条件
(数値が高いほど暗い条件で転換します。)
 2. D→N(DELAY)：カラーモードから白黒モードへの切替の遅延時間を調整します。
 3. N → D(CDS)：白黒モードからカラーモードへ転換する条件
(数値が高いほど暗い条件で転換します。)
 4. N → D(DELAY)：白黒モードからカラーモードへの切替の遅延時間を調整します。
*カメラの設置状況によって転換照度は変化します。
- ▶ EXT：この機能は使用しませんので設定しないでください。
- ▶ 白黒：常時白黒モードで映像を出力します。
- ▶ カラー：常時カラーモードで映像を出力します。

6. NR

演算により映像のノイズを除去する機能です。

- ▶ 2DNR：通常はオンのままご使用ください。
レベルが高いほどノイズ低減効果は高まりますが、被写体の境界ににじみが生じやすくなります。
- ▶ 3DNR：通常はオンのままご使用ください。
レベルが高いほど3Dノイズ低減効果が高まりますが、映像に残像が発生するなど副作用があります。

6. アラーム：動きを検知した時の表示方法を設定します。
 - ビュータイプ：動きを検知した時の検知エリアの表示方法を選びます。
 - OSD VIEW：ONにすると動き検知時に画面下に「MOTION DETECTED」と表示します。
 - アラームアウト：この機能は使用しません。
 - タイム：動きを検知した後、アウトラインと文字を表示する時間を設定します。
7. 初期設定：初期設定に戻ります。

- ▶ プライバシーマスク：プライバシー保護のため映像の一部分を撮影しない機能です。
 1. 選択：マスクしたいエリアを選択し、次の各種設定を行います。
 2. DISPLAY：マスクの種類をカラー/モザイク/インバータの中から選択できます。
SETボタンを押しエリアの位置、形をUP▲/DOWN▼ LEFT◀/RIGHT▶で設定します。
 3. カラー：カラーを選択した場合に、マスクの色(塗りつぶし)を選択できます。
 4. トランス：カラーを選択した場合に、マスクの透過度を変えることができます。
 5. 初期設定：初期設定に戻ります。

- ▶ 言語選択：メニューの言語を選択します。選択後、SETボタンを押します。

- ▶ 欠陥画素補正：欠陥画素を補正します。ONのままご使用ください。
 1. ライブ欠陥画素補正：欠陥画素を補正します。
オンの状態でSETボタンを押し、「AGCLレベル」と「レベル」を設定します。
-AGCLレベル：暗い環境での欠陥画素補正のレベルを設定します。
-レベル：明るい環境での欠陥画素補正のレベルを設定します。
 2. 白キズ補正：白い画素欠損を補正します。(通常はONのままご使用ください。)
 3. 黒キズ補正：黒い画素欠損を補正します。(通常はOFFのままご使用ください。)

- ▶ マニュアル：屋外での使用で蛍光灯のちらつきを防ぎたい場合は「マニュアル」を選択し、次の「露出」メニューの「シャッター」の選択肢から「FLK」を選択してください。
 1. CAM ID：カメラのIDを設定します。0～255まで設定可能です。
 2. ID DISPLAY：画面上でカメラIDを表示します。
オンの状態でSETボタンを押すと表示する位置を調整できます。
 3. ボーレート：通信速度を設定します。

(「レンズ」メニューで「DC→室外」を選択すると調整できません。屋外での使用で蛍光灯のちらつきを防ぎたい場合は「レンズ」メニューで「マニュアル」を選択し、「シャッター」の選択肢から「FLK」を選択してください。)

7. スペシャル機能

- ▶ CAM TITLE：カメラのタイトルの入力ができます。
 - ① LEFT◀/RIGHT▶を操作してオンを選択しSETボタンを押します。

注意

CAM TITLEをオフに設定すると、タイトルを入力しても画面には表示しません。

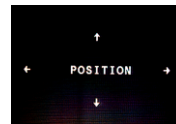
- ② カメラタイトル入力画面が表示されます。
- ③ UP▲/DOWN▼ LEFT◀/RIGHT▶を操作して入力する文字を選択します。
最大15文字まで入力可能です。
- ④ タイトル入力後にPOSを選択しSETボタンを押すと、タイトルが表示される位置を調整できます。
調整終了後にセットボタンを押すとカメラタイトル入力画面に戻ります。
- ⑤ ENDを選択しセットボタンを押すと確定します。

▶ D-EFFECT

1. フリーズ：ライブ映像を静止させる機能です。
2. ミラー
 - ミラー：映像を左右反転します。
 - V-FLIP：映像を上下反転します。
 - 回転：映像を上下左右反転します。
3. NEG. IMAGE：映像をネガイメージで表示します。

- ▶ 動き検知：画面上4つのエリアで発生する動きを検知することが可能です。

1. 選択：動きを検知するエリアを選択し、次の各種設定を行います。
2. DISPLAY：検知するエリアをオン/オフします。
オンの状態でSETボタンを押しUP▲/DOWN▼ LEFT◀/RIGHT▶で位置を設定し、もう一度SETボタンを押しUP▲/DOWN▼ LEFT◀/RIGHT▶でサイズを調整します。



3. SENSITIVITY：数値が高いほど感度は高くなります。
4. カラー：動きを検知した時に表示される検知エリアのアウトラインとブロックの色を選びます。
5. トランス：数値が低いほど検知を示す色の透過度が高くなります。

8. 調整

- ▶ SHARPNESS：自動で映像の輪郭を調整します。オートを選択してSETボタンを押します。
 1. レベル：数値が大きいほど映像の輪郭が鮮明になります。

注意

シャープネスのレベルが高すぎると映像にノイズが発生する可能性があります。スタートAGCとEND AGCを調整することでノイズを軽減できることがあります。

- ▶ モニタ：使用するモニタに合わせて選択します。
- SETボタンを押すと詳細メニューでガンマ、ブラックレベル、青ゲイン、赤ゲインを調整できます。
- ▶ レンズ沈み補正：光学レンズで中央付近に比べ周辺部の映像が暗くなる現象を補正します。
- ▶ ビデオアウト：ビデオ信号の形式を設定します。

注意

ビデオアウトはNTSCのまま変更せずに使用してください。

9. 終了

- ▶ 保存 & 終了：設定を保存して終了します。
- ▶ リセット：設定値が工場出荷状態に戻ります。
- ▶ 保存しない：設定を保存せずに終了します。
(但し、RS485、カメラ ID、ボーレートは初期設定値に戻りません)